

府中市男女共同参画に関する意識調査 単純集計結果(速報値)

令和5年10月

■府中市男女共同参画に関する意識調査 単純集計結果(速報値) ■

1. 調査の目的

本調査は、「第7府中市次男女共同参画計画」を策定準備にあたって、市民の皆様の男女共同参画社会に関する意識やご意見・ご要望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・ 市内在住の18歳以上の市民 2,000名(無作為抽出)

(2) 調査方法

- ・ 配布方法: 郵送による配布
- ・ 回収方法: 郵送またはWEBサイトでの回収(どちらか選択)

(3) 調査期間

- ・ 令和5年9月11日(月)～令和5年9月24日(日)
- ・ 令和5年9月19日(火)の週に到着するようお礼状発送、締め切り後も一定期間回答受付
※令和5年10月6日(金)到着分まで集計に反映

3. 配布・回収状況

- ・ 標本数: 2,000票
- ・ 回収数: 683票(質問紙回収449票、WEB回収238票)
- ・ 回収率: 34.4%
- ・ 有効回答票: 683票
- ・ 有効回答率: 34.2%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ 集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっています。したがって、シングル・アンサー(SA)(1つの選択肢のみを回答する設問)の合計は、100.0%とならない場合があります。
- ・ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、マルチ・アンサー(MA)(複数の選択肢を回答する設問)の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となります。
- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・ 本文グラフ及び表では「無回答」を含んで集計しています。
- ・ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・ 有効回答者数は各設問に(n=●●)で表しています。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票は無効としています。

5. アンケート調査項目

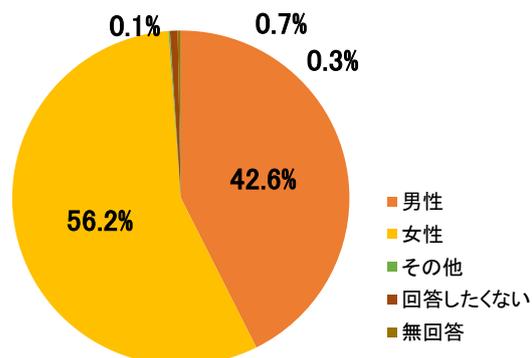
問番号 調査内容	回答形式
■ あなたご自身について	
F1 性別	SA
F2 年齢	SA
F3 職業	SA
F4 婚姻	SA
■ あらゆる分野における男女共同参画について	
問1 ①～⑦の分野において男女の地位は平等になっていると思うか	SA
問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	SA
問2-1 【限定】賛成の理由	MA
問2-2 【限定】反対の理由	MA
問3 女性が長く働くうえでの支障	SA
問4 児童生徒の男女参画意識を育成するために、学校教育で必要な取組	MA
問5 現在の社会活動や地域活動への参加について	SA
問5-1 【限定】参加したいができていない理由	MA
問6 災害対策に男女双方の視点を生かすために重要なこと	MA
問7 聞き取ったことのある言葉	MA
■ 仕事と生活の調和について	
問8 「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」の優先度の希望	SA
問9 「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」の優先度の現状	SA
問10 男性が育児・家事を行うことに対するイメージ	MA
問11 ワーク・ライフ・バランス実現のために有効だと思う取組	MA
問12 ワーク・ライフ・バランス実現のために府中市に望むこと	MA
■ 人権が尊重される社会の形成について	
問13 ①～⑨の各行為は暴力だと思うか	SA
問14 自身が暴力を受けたこと、または身近な人暴力を受けていることに気づいたことはあるか	SA
問14-1 【限定】誰(どこ)に相談したか	SA
問15 DVやデートDVの対策や防止のため、府中市で必要な施策	MA
問16 ①～⑥の行為を日常生活で受けたことがあるか	SA
問17 セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要な方策	MA
■ 男女共同参画社会づくりに向けた府中市の施策について	
問18 「府中市男女共同参画センター フチャール」を知っているか	SA
問19 「府中市男女共同参画センター フチャール」にどのような機能があれば良いか	MA
問20 府中市は女性が活躍できる都市だと思うか	SA
問20-1 【限定】そのように回答した理由	FA
問21 自分らしく豊かに生きることのできる社会を実現させるため、力を入れてほしいこと	MA
問22 自由意見	FA

■ あなたご自身について

F1 性別[SA]

		票数	%
1	男性	291	42.6%
2	女性	384	56.2%
3	その他	1	0.1%
4	回答したくない	5	0.7%
	無回答	2	0.3%
	合計	676	100.0%

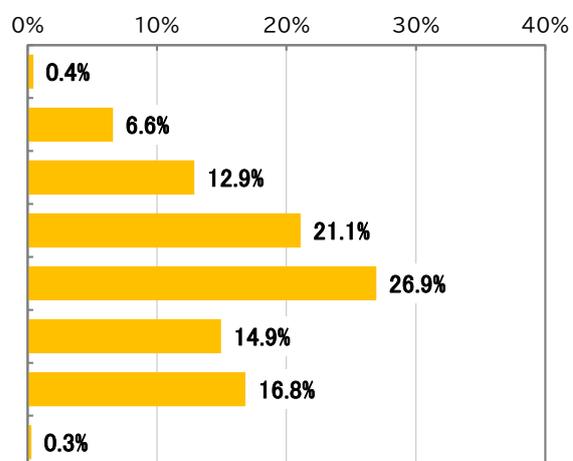
n= 683



F2 年齢[SA]

		票数	%
1	18～19歳	3	0.4%
2	20～29歳	45	6.6%
3	30～39歳	88	12.9%
4	40～49歳	144	21.1%
5	50～59歳	184	26.9%
6	60～69歳	102	14.9%
7	70歳以上	115	16.8%
	無回答	2	0.3%
	合計	683	100.0%

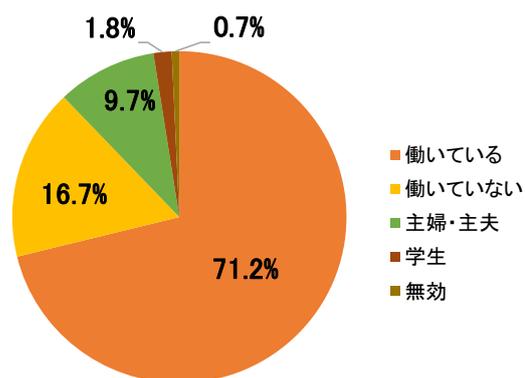
n= 683



F3 職業[SA]

		票数	%
1	働いている(収入あり)	486	71.2%
2	働いていない (収入なし、または公的年金)	114	16.7%
3	主婦・主夫	66	9.7%
4	学生	12	1.8%
	無回答	5	0.7%
	合計	683	100.0%

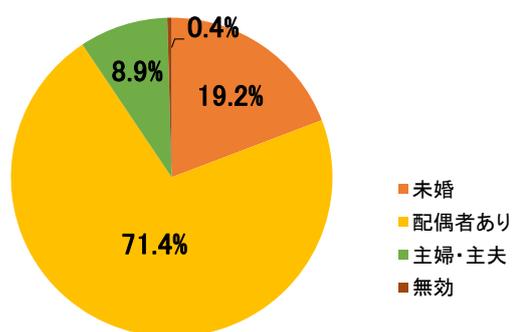
n= 683



F4 婚姻[SA]

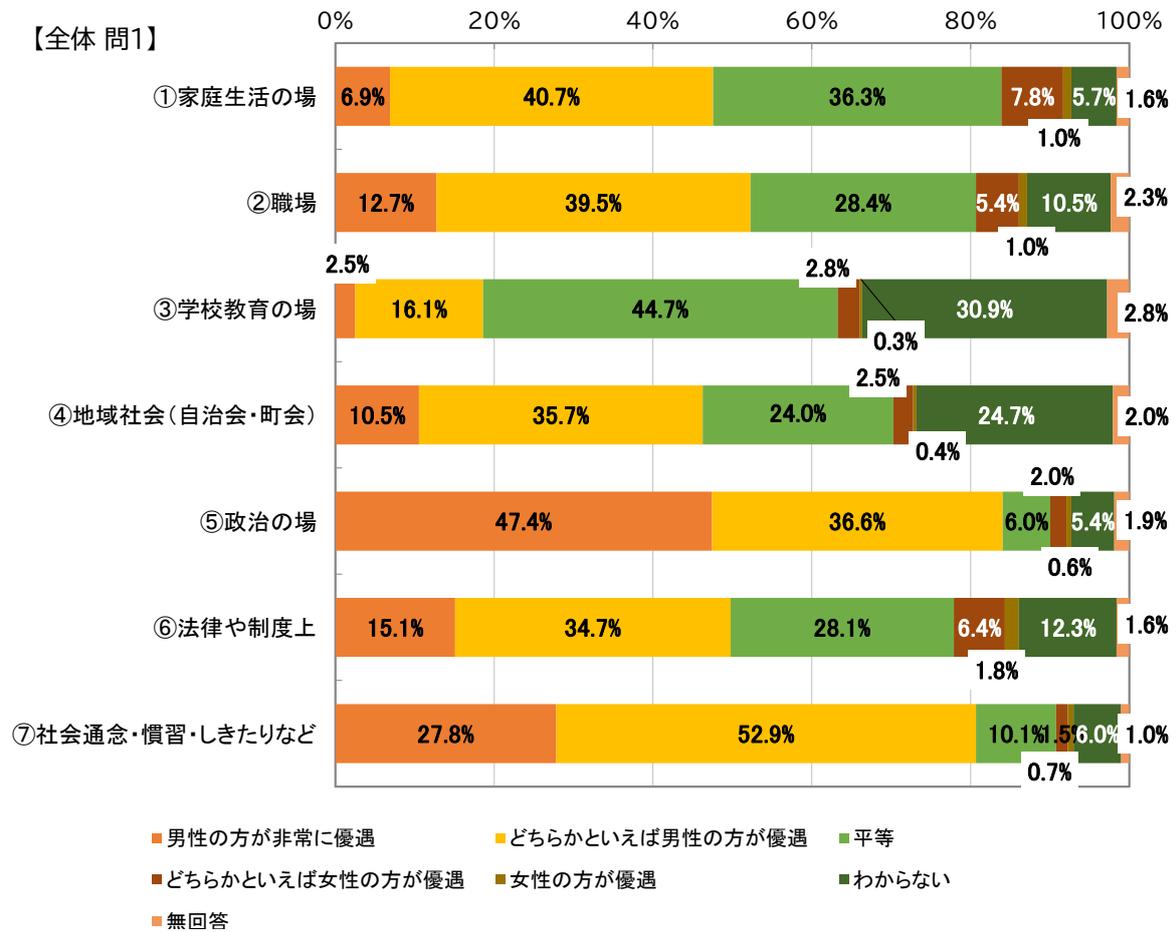
		票数	%
1	未婚	131	19.2%
2	配偶者あり(事実婚含む)	488	71.4%
3	主婦・主夫	61	8.9%
	無回答	3	0.4%
	合計	683	100.0%

n= 683



■あらゆる分野における男女共同参画について

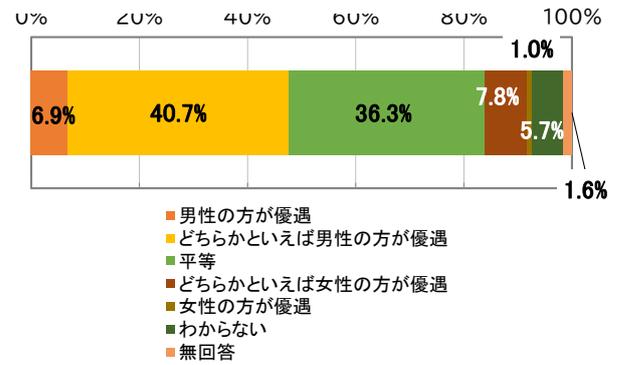
問1 ①～⑦の分野において男女の地位は平等になっていると思うか[SA]



①家庭

		票数	%
1	男性の方が優遇	47	6.9%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	278	40.7%
3	平等	248	36.3%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	53	7.8%
5	女性の方が優遇	7	1.0%
6	わからない	39	5.7%
	無回答	11	1.6%
	合計	683	100.0%

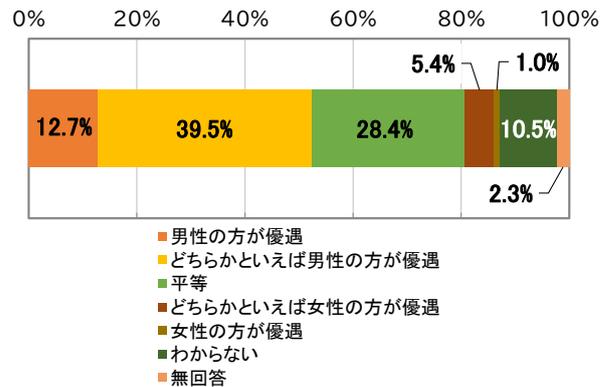
n = 683



②職場

		票数	%
1	男性の方が優遇	87	12.7%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	270	39.5%
3	平等	194	28.4%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	37	5.4%
5	女性の方が優遇	7	1.0%
6	わからない	72	10.5%
	無回答	16	2.3%
	合計	683	100.0%

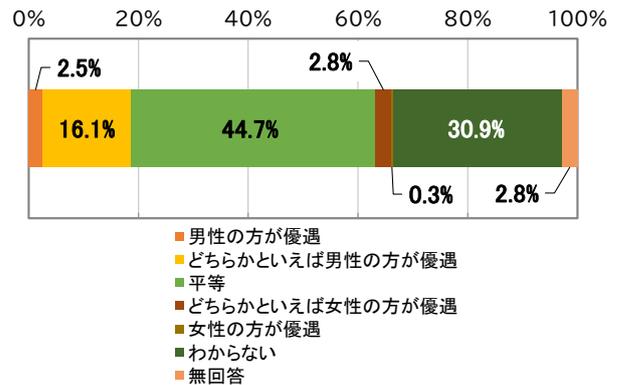
n = 683



③学校教育の場

		票数	%
1	男性の方が優遇	17	2.5%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	110	16.1%
3	平等	305	44.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	19	2.8%
5	女性の方が優遇	2	0.3%
6	わからない	211	30.9%
	無回答	19	2.8%
	合計	683	100.0%

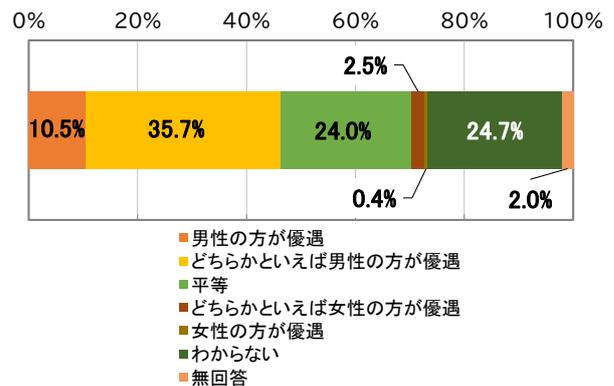
n = 683



④地域社会(自治会・町会)

		票数	%
1	男性の方が優遇	72	10.5%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	244	35.7%
3	平等	164	24.0%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	17	2.5%
5	女性の方が優遇	3	0.4%
6	わからない	169	24.7%
	無回答	14	2.0%
	合計	683	100.0%

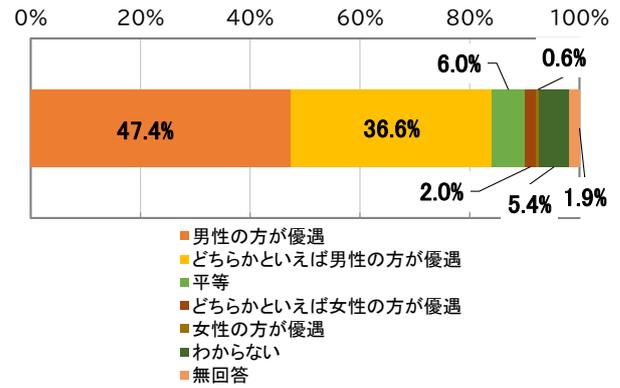
n = 683



⑤政治

		票数	%
1	男性の方が優遇	324	47.4%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	250	36.6%
3	平等	41	6.0%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	14	2.0%
5	女性の方が優遇	4	0.6%
6	わからない	37	5.4%
	無回答	13	1.9%
	合計	683	100.0%

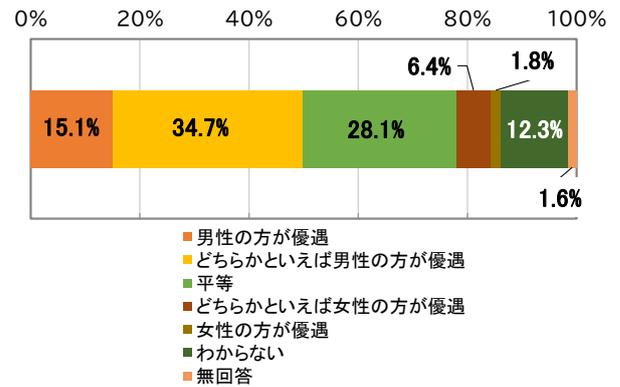
n = 683



⑥法律や制度

		票数	%
1	男性の方が優遇	103	15.1%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	237	34.7%
3	平等	192	28.1%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	44	6.4%
5	女性の方が優遇	12	1.8%
6	わからない	84	12.3%
	無回答	11	1.6%
	合計	683	100.0%

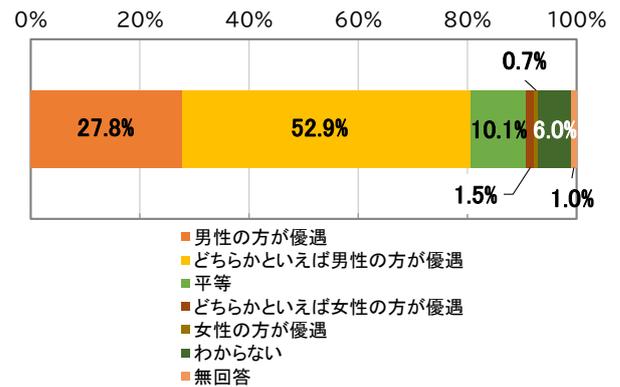
n = 683



⑦社会通念、慣習、しきたりなど

		票数	%
1	男性の方が優遇	190	27.8%
2	どちらかといえば男性の方が優遇	361	52.9%
3	平等	69	10.1%
4	どちらかといえば女性の方が優遇	10	1.5%
5	女性の方が優遇	5	0.7%
6	わからない	41	6.0%
	無回答	7	1.0%
	合計	683	100.0%

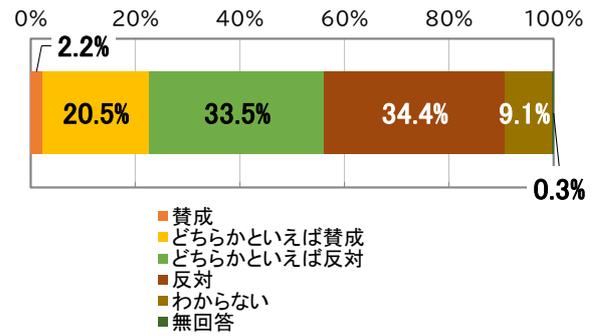
n = 683



問2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について[SA]

		票数	%
1	賛成	15	2.2%
2	どちらかといえば賛成	140	20.5%
3	どちらかといえば反対	229	33.5%
4	反対	235	34.4%
5	わからない	62	9.1%
	無回答	2	0.3%
	合計	683	100.0%

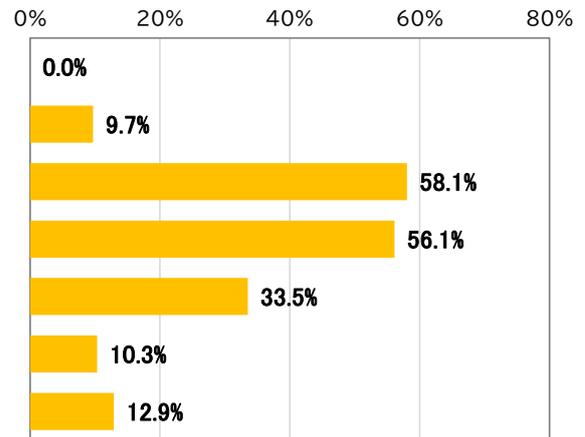
n= 683



問2-1 【限定】問4で「1 賛成」または「2 どちらかと言えば賛成」と回答した方 賛成の理由[MA]

		票数	%
1	日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	20	12.9%
2	自分の両親も役割分担をしていたから	16	10.3%
3	夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	52	33.5%
4	妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	87	56.1%
5	育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	90	58.1%
6	その他	15	9.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	280	180.6%

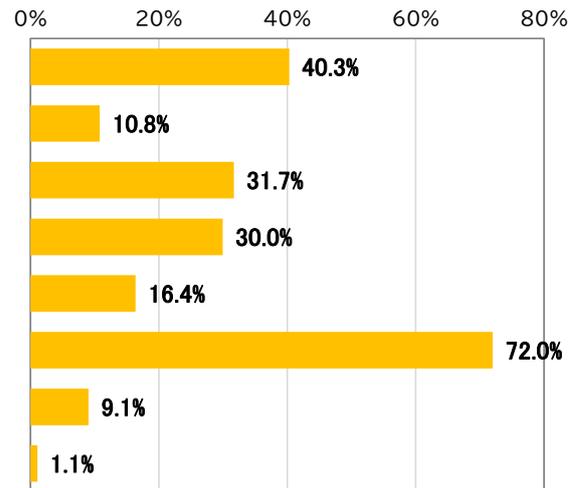
n= 155



問2-2 【限定】問4で「3 どちらかと言えば反対」または「4 反対」と回答した方 反対の理由[MA]

		票数	%
1	男女平等に反すると思うから	187	40.3%
2	自分の両親が外で働いていたから	50	10.8%
3	夫も妻も外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	147	31.7%
4	妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	139	30.0%
5	育児・介護・家事と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	76	16.4%
6	固定的な夫と妻の役割分担意識を押し付けるべきではないから	334	72.0%
7	その他	42	9.1%
	無回答	5	1.1%
	合計	980	211.2%

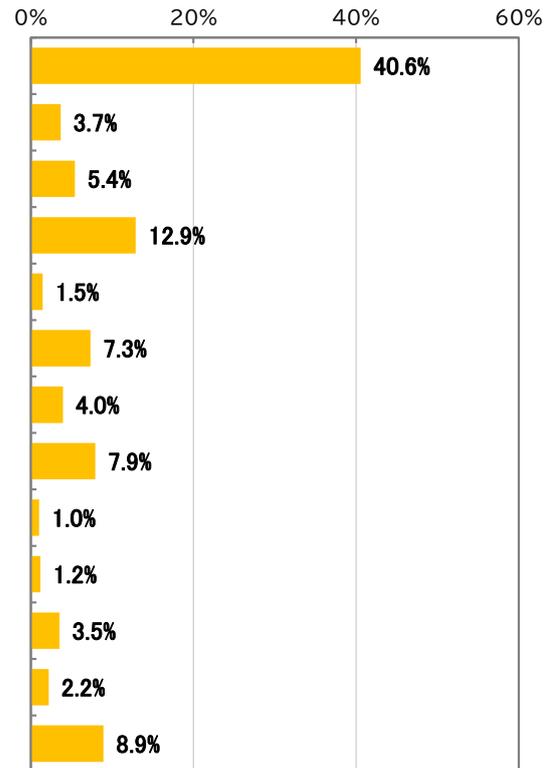
n= 464



問3 女性が長く働くうえでの支障[SA]

		票数	%
1	家事・育児との両立が難しい	277	40.6%
2	家族の理解や協力が得にくい	25	3.7%
3	高齢者や障害者の介護がある	37	5.4%
4	子どもを預ける施設の数やサービスが不足している	88	12.9%
5	働くことにメリットが感じられない	10	1.5%
6	配偶者もしくはパートナーの理解や意識が不足している	50	7.3%
7	育児・介護休業制度などを利用しにくい	27	4.0%
8	職場での昇進・昇給や、教育制度に男女の不公平な取り扱いがある	54	7.9%
9	職場に結婚・出産退職の慣行がある	7	1.0%
10	配偶者もしくはパートナーの転勤がある	8	1.2%
11	その他	24	3.5%
12	特にない	15	2.2%
	無回答	61	8.9%
	合計	683	100.0%

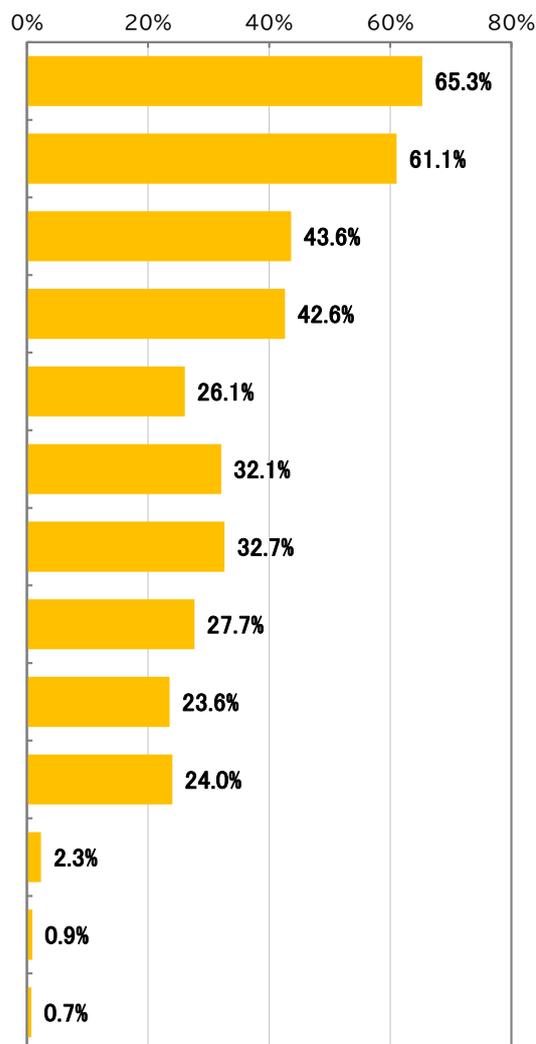
n= 683



問4 児童生徒の男女参画意識を育成するために、学校教育で必要な取組[MA]

		票数	%
1	性別にかかわらず、協力して物事を進める必要性を学ぶ	446	65.3%
2	ひとりひとりの個性や人権を尊重することを学ぶ	417	61.1%
3	家庭や家族の多様なありかたについて学ぶ	298	43.6%
4	生活指導や進路指導において、性別にかかわらず能力を生かせるよう配慮する	291	42.6%
5	DV(配偶者間での暴力)・デートDV(交際相手からの暴力)を防ぐための教育や相談を行う	178	26.1%
6	人権尊重の視点に立った性教育を充実させる	219	32.1%
7	性犯罪の加害者や被害者になることを防いだり、性産業に巻き込まれないための教育や相談を行う	223	32.7%
8	子どものメディア・リテラシー(※)を高める教育を行う	189	27.7%
9	教職員を対象とした男女共同参画の研修を実施する	161	23.6%
10	教員の男女比を同数にしたり、管理職(校長や副校長)に女性を増やしていく	164	24.0%
11	その他	16	2.3%
12	どれも必要だとは思わない	6	0.9%
	無回答	5	0.7%
	合計	2613	382.6%

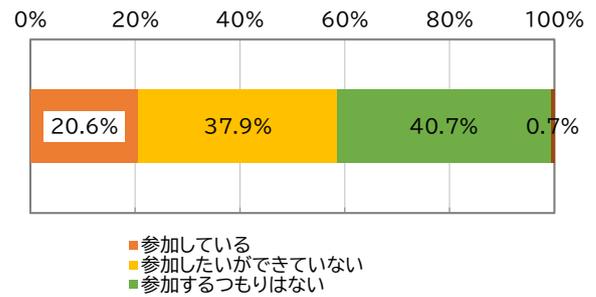
n= 683



問5 現在の社会活動や地域活動への参加について[SA]

		票数	%
1	参加している	141	20.6%
2	参加したいができていない	259	37.9%
3	参加するつもりはない	278	40.7%
	無回答	5	0.7%
	合計	683	100.0%

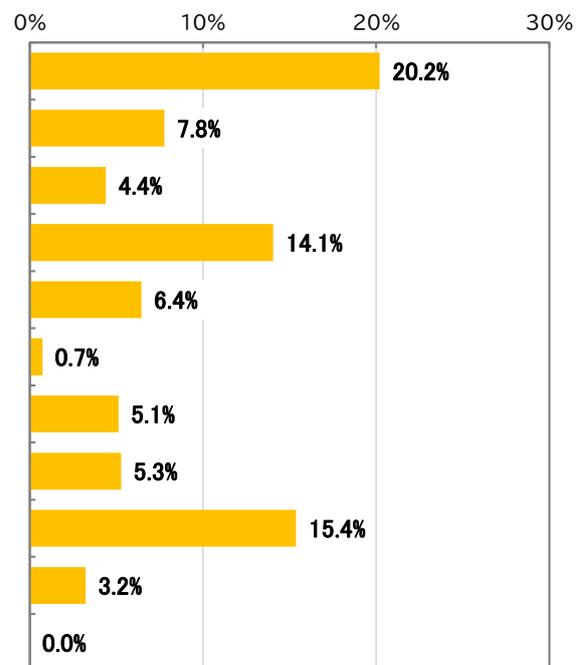
n = 683



問5-1 【限定】問5で「2 参加したいができていない」と回答した方 参加したいができていない理由[MA]

		票数	%
1	仕事が忙しいから	138	20.2%
2	家事や育児・介護などが忙しいから	53	7.8%
3	経済的余裕がないから	30	4.4%
4	どのような活動があるかわからないから	96	14.1%
5	一緒に活動する仲間がないから	44	6.4%
6	家族の理解や協力がいないから	5	0.7%
7	近くに活動の場がないから	35	5.1%
8	参加したいと思う活動がないから	36	5.3%
9	参加方法がわからない、きっかけがないから	105	15.4%
10	その他	22	3.2%
	無回答	0	0.0%
	合計	564	82.6%

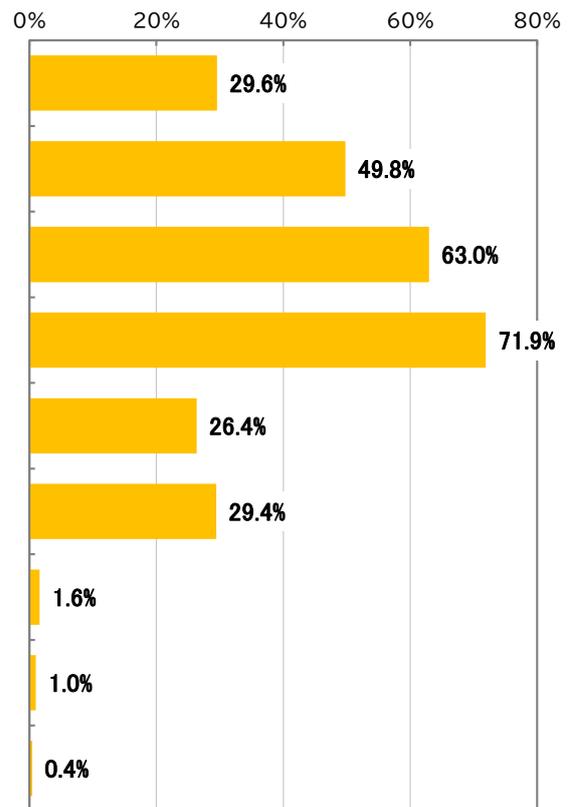
n = 683



問6 災害対策に男女双方の視点を生かすために重要なこと[MA]

		票数	%
1	防災分野の委員会や会議が、男女同数程度の構成になるようにする	202	29.6%
2	災害対応や復興において男女双方の視点が活かされるよう、災害現場の支援活動の中で男女のリーダーをバランスよく配置する	340	49.8%
3	災害に関する各種対応マニュアルなどに男女双方の視点を入れる	430	63.0%
4	性別に応じてプライバシー(トイレ・更衣・授乳・就寝スペース等)が確保できる避難所運営を行えるようにする	491	71.9%
5	災害時における配偶者やパートナー、子どもに対する暴力の防止策を講じたり、相談窓口を設置する	180	26.4%
6	消防職員・警察官・自衛官・自治体職員などについて、防災担当に男女がバランスよく配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する	201	29.4%
7	その他	11	1.6%
8	どれも必要だとは思わない	7	1.0%
	無回答	3	0.4%
	合計	1865	273.1%

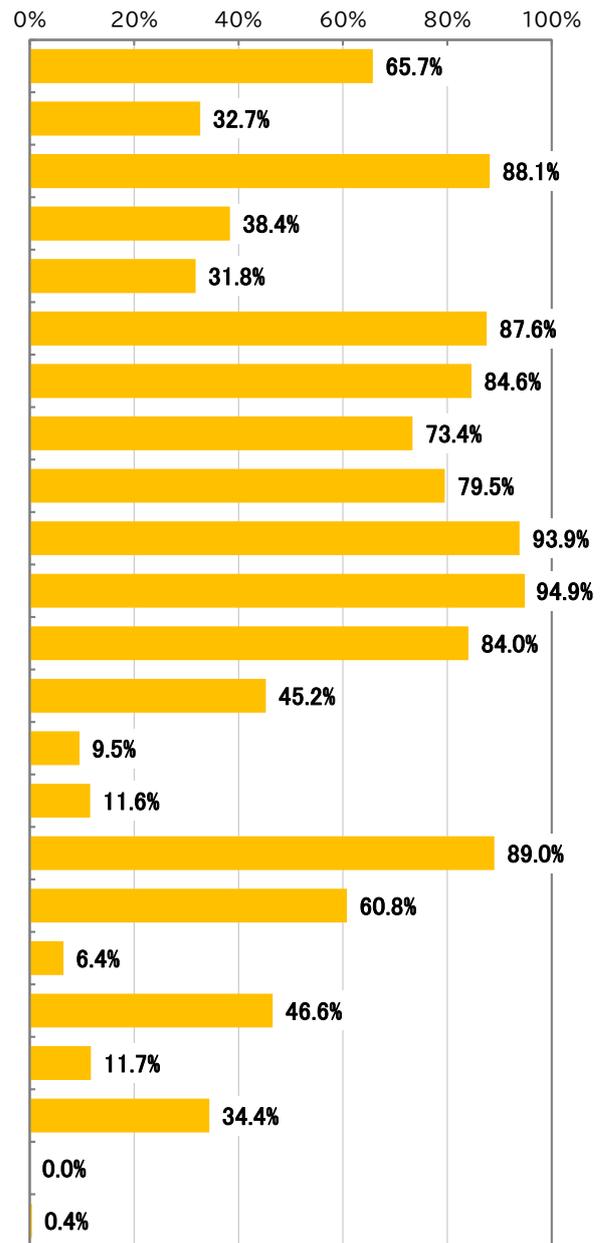
n= 683



問7 見聞きしたことのある言葉[MA]

		票数	%
1	男女共同参画社会	449	65.7%
2	女性差別撤廃条約	223	32.7%
3	男女雇用機会均等法	602	88.1%
4	女性活躍推進法	262	38.4%
5	配偶者暴力防止法	217	31.8%
6	ストーカー規制法	598	87.6%
7	LGBT	578	84.6%
8	セクシュアルマイノリティ	501	73.4%
9	DV・デートDV	543	79.5%
10	セクシュアル・ハラスメント	641	93.9%
11	パワー・ハラスメント	648	94.9%
12	マタニティ・ハラスメント	574	84.0%
13	メディア・リテラシー	309	45.2%
14	クォータ制	65	9.5%
15	ポジティブ・アクション	79	11.6%
16	ジェンダー	608	89.0%
17	ワーク・ライフ・バランス	415	60.8%
18	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	44	6.4%
19	パートナーシップ宣誓制度	318	46.6%
20	アンコンシャス・バイアス	80	11.7%
21	ダイバーシティ&インクルージョン	235	34.4%
22	上記の中で見たり聞いたりした言葉はない	0	0.0%
	無回答	3	0.4%
	合計	7,992	1170.1%

n= 683

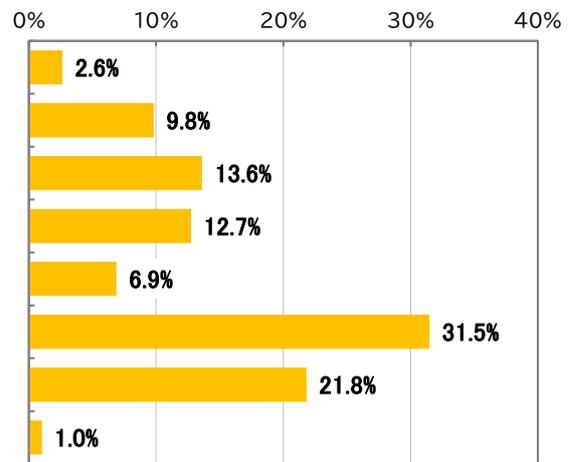


■仕事と生活の調和について

問8 「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」の優先度の希望[SA]

		票数	%
1	「仕事」を優先したい	18	2.6%
2	「家庭生活」を優先したい	67	9.8%
3	「個人の時間」を優先したい	93	13.6%
4	「仕事」と「家庭生活」を優先したい	87	12.7%
5	「仕事」と「個人の時間」を優先したい	47	6.9%
6	「家庭生活」と「個人の時間」を優先したい	215	31.5%
7	「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」すべてを優先したい	149	21.8%
	無回答	7	1.0%
	合計	683	100.0%

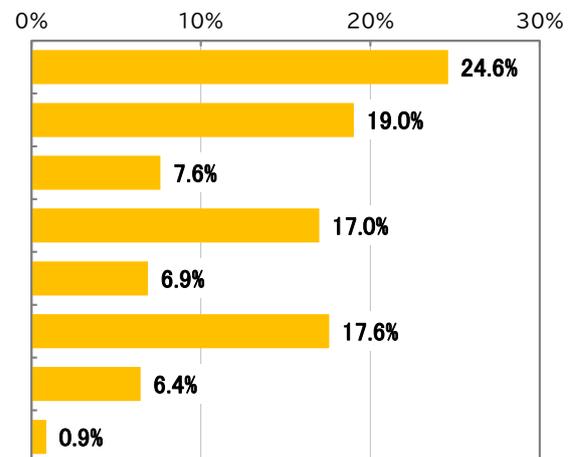
n= 683



問9 「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」の優先度の現状[SA]

		票数	%
1	「仕事」を優先している	168	24.6%
2	「家庭生活」を優先している	130	19.0%
3	「個人の時間」を優先している	52	7.6%
4	「仕事」と「家庭生活」を優先している	116	17.0%
5	「仕事」と「個人の時間」を優先している	47	6.9%
6	「家庭生活」と「個人の時間」を優先している	120	17.6%
7	「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」すべてを優先している	44	6.4%
	無回答	6	0.9%
	合計	683	100.0%

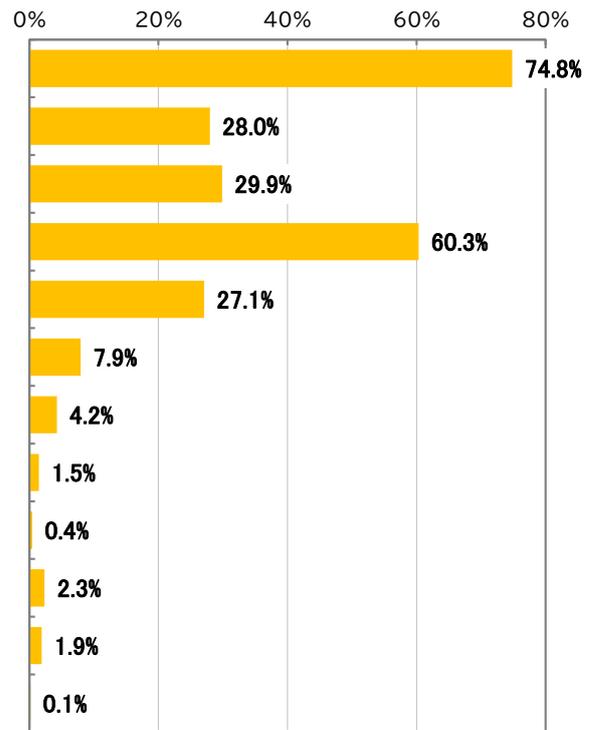
n= 683



問10 男性が育児・家事を行うことに対するイメージ[MA]

		票数	%
1	男性も家事・育児を行うことは、当然である	511	74.8%
2	家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる	191	28.0%
3	男性自身も充実感が得られる	204	29.9%
4	子どもにいい影響を与える	412	60.3%
5	仕事と両立させることは、現実として難しい	185	27.1%
6	家事・育児は女性の方が向いている	54	7.9%
7	妻が家事・育児をしていないと誤解される	29	4.2%
8	周囲から冷たい目で見られる	10	1.5%
9	男性は、家事・育児を行うべきではない	3	0.4%
10	その他	16	2.3%
11	特にない	13	1.9%
	無回答	1	0.1%
	合計	1,629	238.5%

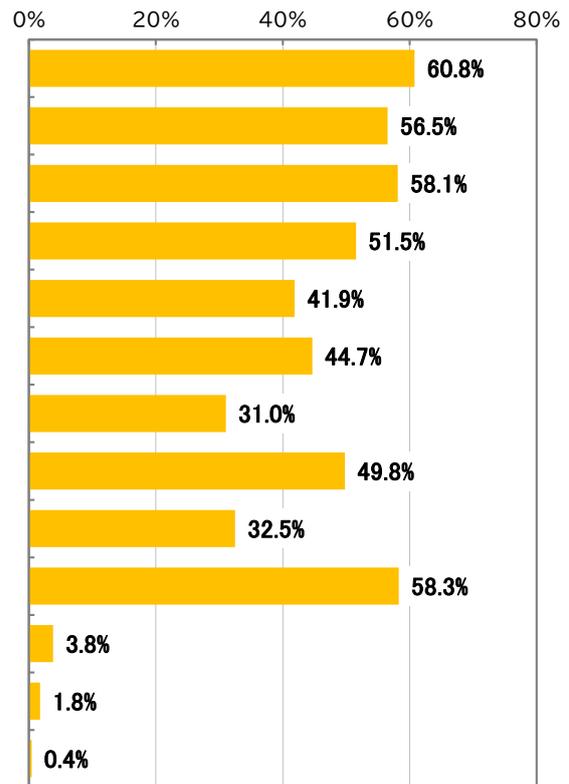
n= 683



問11 ワーク・ライフ・バランス実現のために有効だと思う取組[MA]

		票数	%
1	長時間労働の削減	415	60.8%
2	有給休暇の取得促進	386	56.5%
3	仕事と育児の両立支援	397	58.1%
4	仕事と介護の両立支援	352	51.5%
5	男性の育児休業、出産時育児休業取得の促進	286	41.9%
6	管理職の意識啓発	305	44.7%
7	従業員の意識啓発	212	31.0%
8	テレワーク(在宅勤務等)、副業・兼業の促進など多様な働き方の導入	340	49.8%
9	福利厚生制度の充実など、休暇の過ごし方の支援	222	32.5%
10	フレックスタイム、短時間勤務制度、週休3日制の導入など柔軟な働き方の導入	398	58.3%
11	その他	26	3.8%
12	特にない	12	1.8%
	無回答	3	0.4%
	合計	3,354	491.1%

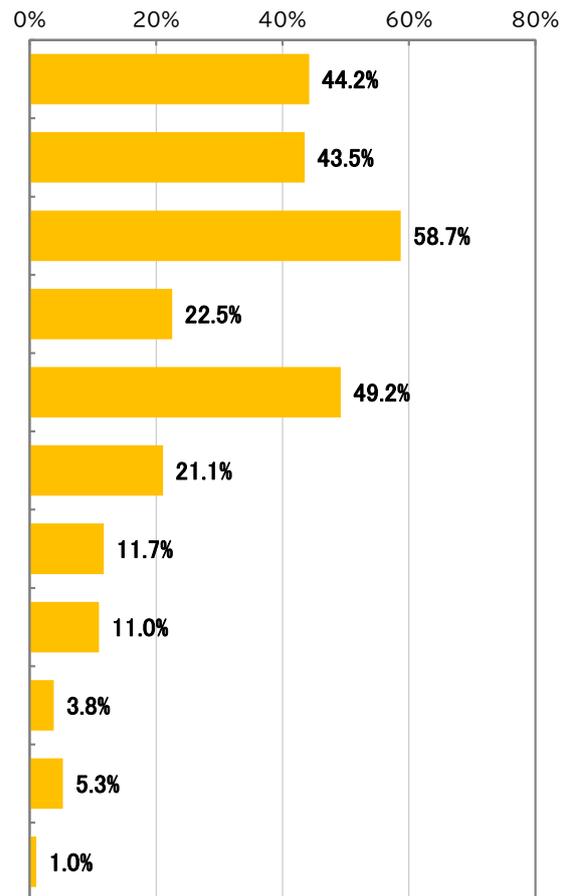
n= 683



問12 ローく・ライフ・バランス実現のために府中市に望むこと[MA]

		票数	%
1	一時預かり等の保育サービスの充実を図る	302	44.2%
2	地域全体で子育て支援に取り組めるよう仕組みづくりを進める	297	43.5%
3	高齢者・障害者等を家庭で介護する人の負担を軽減するための情報提供等を行う	401	58.7%
4	性や年代別のニーズに応じた健康支援に関する情報提供等を行う	154	22.5%
5	男女とも仕事と生活を両立できるようにするため、企業、事業所に対して環境整備を働きかける	336	49.2%
6	身近な就労環境(コワーキングスペース等)の整備を行う	144	21.1%
7	ワーク・ライフ・バランスへの意識啓発に関する講座等を実施する	80	11.7%
8	パンフレットやポスターの配布・掲示等により、事業者・労働者双方への情報提供等を行う	75	11.0%
9	その他	26	3.8%
10	特にない	36	5.3%
	無回答	7	1.0%
	合計	1858	272.0%

n= 683



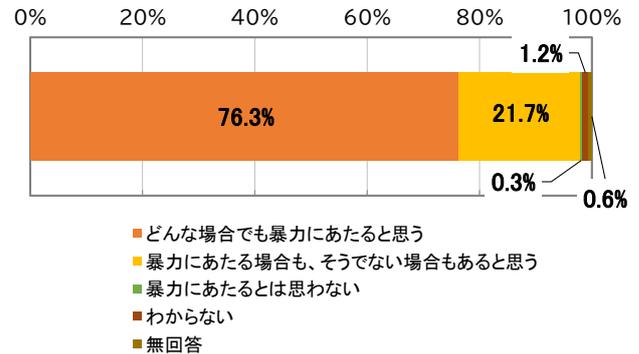
■人権が尊重される社会の形成について

問13 ①～⑨の各行為は暴力だと思うか[SA]

①平手で打つ

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	521	76.3%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	148	21.7%
3	暴力にあたるとは思わない	2	0.3%
4	わからない	8	1.2%
	無回答	4	0.6%
	合計	683	100.0%

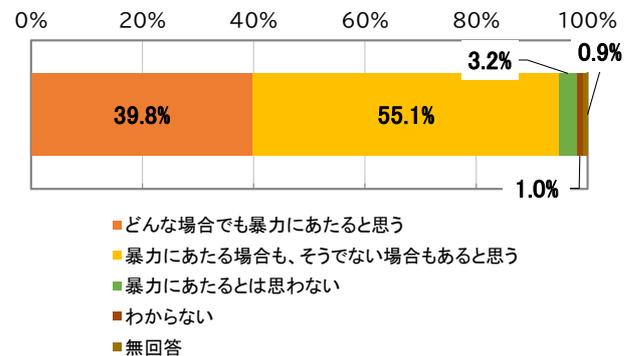
n = 683



②大声でどなる

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	272	39.8%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	376	55.1%
3	暴力にあたるとは思わない	22	3.2%
4	わからない	7	1.0%
	無回答	6	0.9%
	合計	683	100.0%

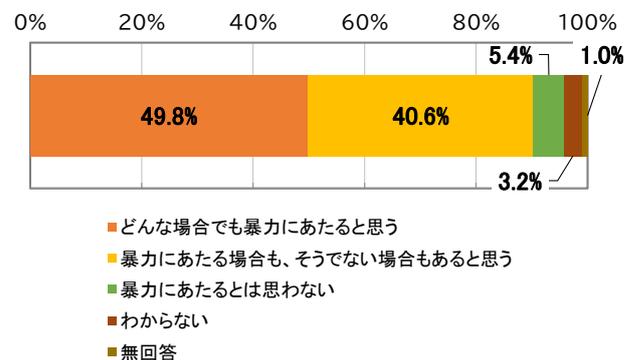
n = 683



③外出などを制限する

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	340	49.8%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	277	40.6%
3	暴力にあたるとは思わない	37	5.4%
4	わからない	22	3.2%
	無回答	7	1.0%
	合計	683	100.0%

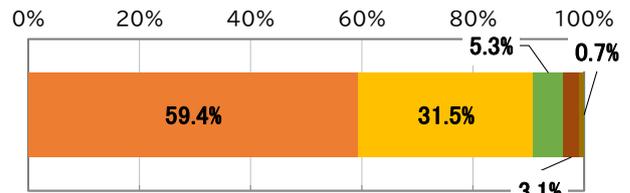
n = 683



④交友関係や電話・メール・SNSを細かく監視する

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	406	59.4%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	215	31.5%
3	暴力にあたるとは思わない	36	5.3%
4	わからない	21	3.1%
	無回答	5	0.7%
	合計	683	100.0%

n = 683

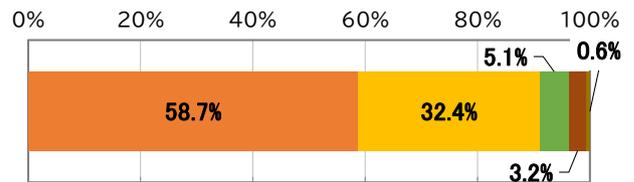


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- わからない
- 無回答

⑤何を言っても無視する

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	401	58.7%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	221	32.4%
3	暴力にあたるとは思わない	35	5.1%
4	わからない	22	3.2%
	無回答	4	0.6%
	合計	683	100.0%

n = 683

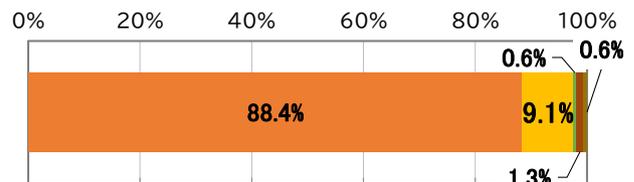


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- わからない
- 無回答

⑥相手の意に反して性的な行為を強要したり、避妊に協力しない

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	604	88.4%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	62	9.1%
3	暴力にあたるとは思わない	4	0.6%
4	わからない	9	1.3%
	無回答	4	0.6%
	合計	683	100.0%

n = 683

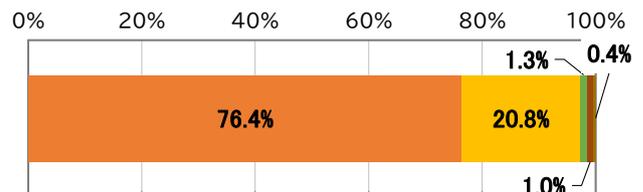


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- わからない
- 無回答

⑦殴るふりをしておどす

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	522	76.4%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	142	20.8%
3	暴力にあたるとは思わない	9	1.3%
4	わからない	7	1.0%
	無回答	3	0.4%
	合計	683	100.0%

n = 683

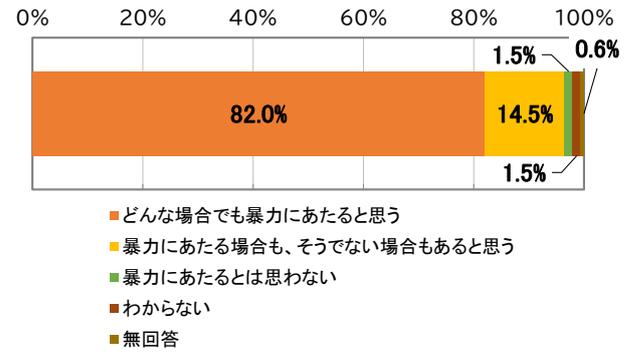


- どんな場合でも暴力にあたると思う
- 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- 暴力にあたるとは思わない
- わからない
- 無回答

⑧「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしよなし」など侮辱的な事を言う

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	560	82.0%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	99	14.5%
3	暴力にあたるとは思わない	10	1.5%
4	わからない	10	1.5%
	無回答	4	0.6%
	合計	683	100.0%

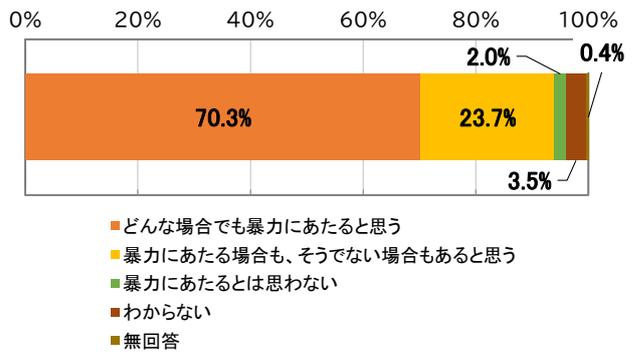
n= 683



⑨生活費を十分に渡さない

		票数	%
1	どんな場合でも暴力にあたると思う	480	70.3%
2	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	162	23.7%
3	暴力にあたるとは思わない	14	2.0%
4	わからない	24	3.5%
	無回答	3	0.4%
	合計	683	100.0%

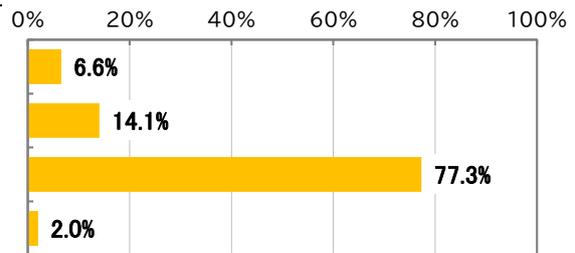
n= 683



問14 自身が暴力を受けたこと、または身近な人暴力を受けていることに気づいたことはあるか[SA]

		票数	%
1	何度もあった	45	6.6%
2	1・2度あった	96	14.1%
3	まったくない	528	77.3%
	無回答	14	2.0%
	合計	683	100.0%

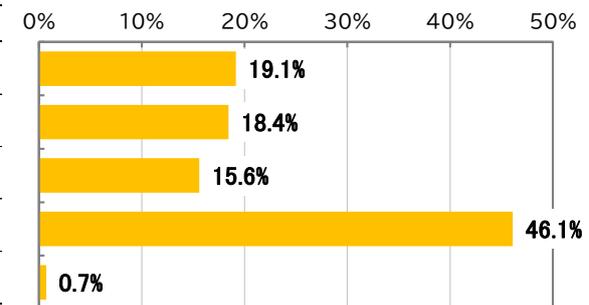
n = 683



問14-1 【限定】問14で「1 何度もあった」または「2 1・2度あった」と回答した方 誰(どこ)に相談したか[SA]

		票数	%
1	相談した	27	19.1%
2	相談したかったが、相談しなかった	26	18.4%
3	相談したかったが、相談先を知らなかった	22	15.6%
4	相談しようと思わなかった	65	46.1%
	無回答	1	0.7%
	合計	141	100.0%

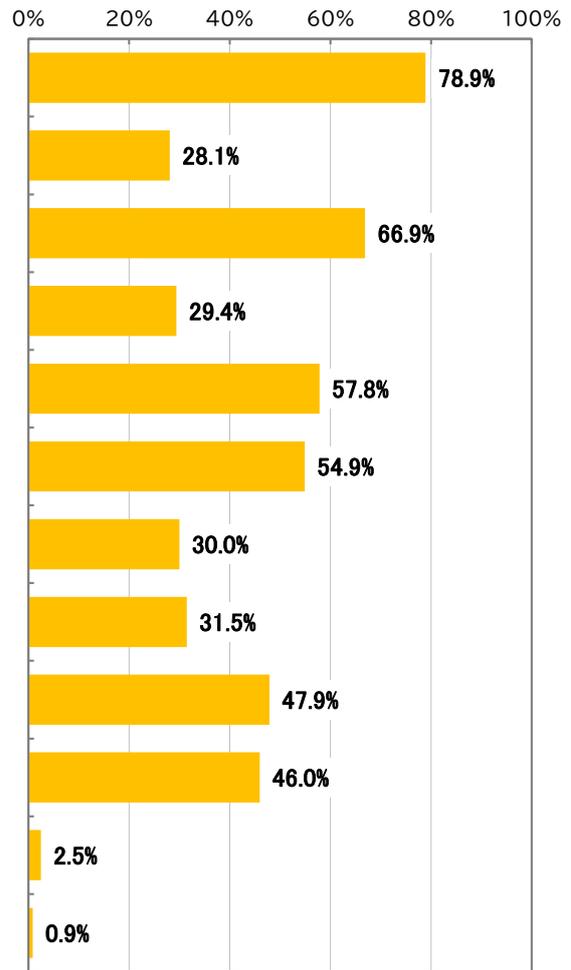
n = 141



問15 DVやデートDVの対策や防止のため、府中市にて必要な施策[MA]

		票数	%
1	相談しやすい環境・相談方法を整備する	539	78.9%
2	相談先や相談方法を記載したカードを、公共施設のひとりで手にとり、読みやすいところに配布する	192	28.1%
3	被害者の安全を守る体制を確立する	457	66.9%
4	DVに関する相談や支援策を多言語で市民に広く知らせる	201	29.4%
5	被害者を一時的に保護する施設(シェルター)と連携する	395	57.8%
6	被害者に対する自立支援(子どもの養育、住宅の確保、就労支援など)を行う	375	54.9%
7	被害者支援に携わる人(相談機関職員など)の意識向上を図る	205	30.0%
8	加害者にならないための啓発事業を実施する	215	31.5%
9	学校で人権やDV、デートDVに関する理解が深まるような授業を実施する	327	47.9%
10	親しい間柄であっても暴力は人権侵害であるという意識の啓発をする	314	46.0%
11	その他	17	2.5%
	無回答	6	0.9%
	合計	3,243	474.8%

n= 683

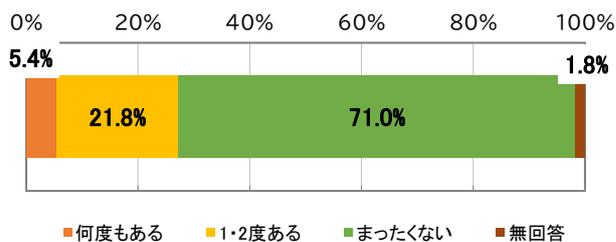


問16 ①～⑥の行為を日常生活で受けたことがあるか[SA]

①不必要に身体に触られた

		票数	%
1	何度もある	37	5.4%
2	1・2度ある	149	21.8%
3	まったくない	485	71.0%
	無回答	12	1.8%
	合計	683	100.0%

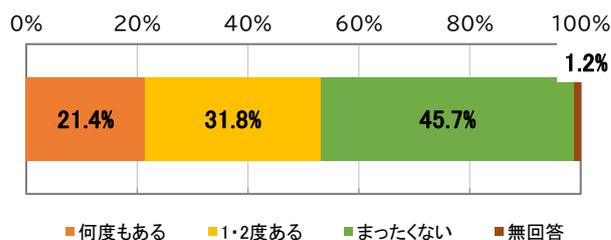
n= 683



②容姿や体型などについて話題にされた

		票数	%
1	何度もある	146	21.4%
2	1・2度ある	217	31.8%
3	まったくない	312	45.7%
	無回答	8	1.2%
	合計	683	100.0%

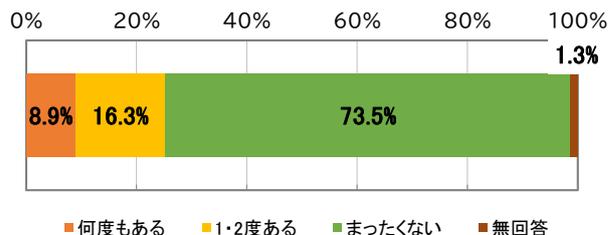
n= 683



③性的な会話を聞かされたり、性的な絵・写真等を見せられたり目に入る場所に置かれたりした

		票数	%
1	何度もある	61	8.9%
2	1・2度ある	111	16.3%
3	まったくない	502	73.5%
	無回答	9	1.3%
	合計	683	100.0%

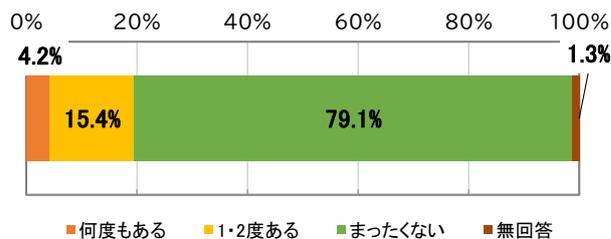
n= 683



④身体を執拗に眺めまわすような目で見られた

		票数	%
1	何度もある	29	4.2%
2	1・2度ある	105	15.4%
3	まったくない	540	79.1%
	無回答	9	1.3%
	合計	683	100.0%

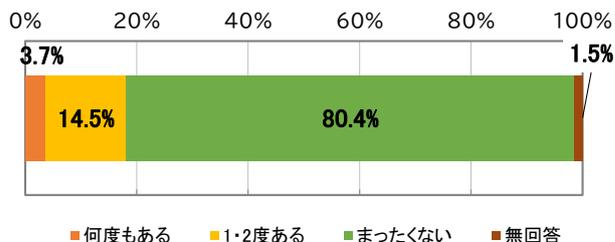
n= 683



⑤嫌がっているのに電話、手紙、Eメール等をされたり食事に誘われたりした

		票数	%
1	何度もある	25	3.7%
2	1・2度ある	99	14.5%
3	まったくない	549	80.4%
	無回答	10	1.5%
	合計	683	100.0%

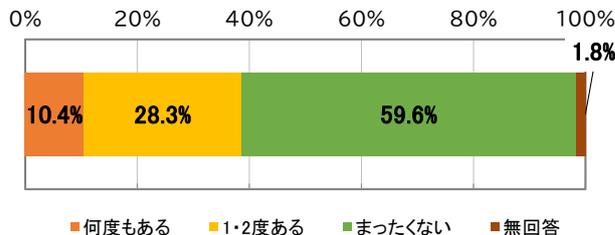
n = 683



⑥「男のくせに」「女のくせに」等の性差を理由とした不快な言葉が言われた

		票数	%
1	何度もある	71	10.4%
2	1・2度ある	193	28.3%
3	まったくない	407	59.6%
	無回答	12	1.8%
	合計	683	100.0%

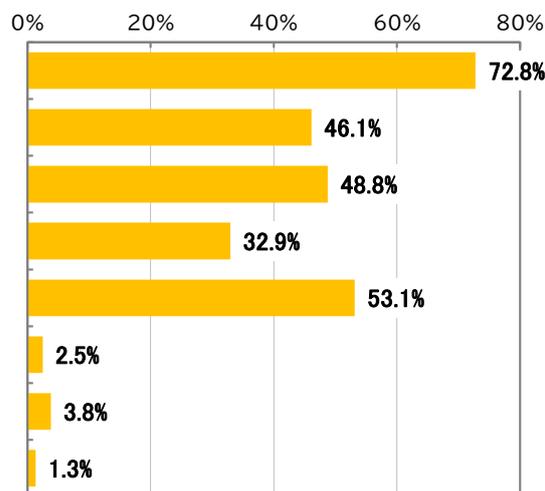
n = 683



問17 セクシュアルマイノリティの人権を守るために必要な方策[MA]

		票数	%
1	正しい知識の習得と、理解を深めるための教育を学校で行う	497	72.8%
2	正しい知識の習得と、理解を深めるための啓発活動を行政が行う	315	46.1%
3	相談・支援体制を充実させる	333	48.8%
4	パートナーシップ宣誓制度の周知や支援の充実	225	32.9%
5	セクシュアルマイノリティであっても不当な差別を受けないよう法律や制度を整備する	363	53.1%
6	その他	17	2.5%
7	特に必要なことはない	26	3.8%
	無回答	9	1.3%
	合計	1785	261.3%

n = 683

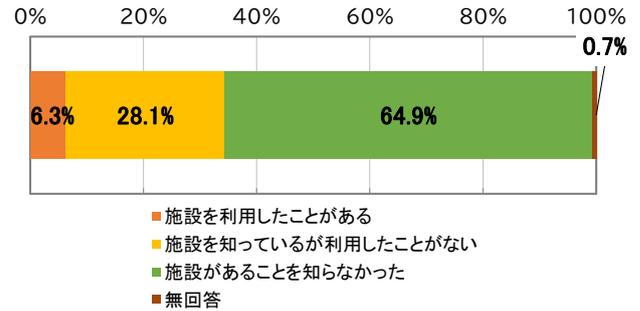


■人権が尊重される社会の形成について

問18 「府中市男女共同参画センター フチャール」を知っているか[SA]

		票数	%
1	施設を利用したことがある	43	6.3%
2	施設を知っているが利用したことがない	192	28.1%
3	施設があることを知らなかった	443	64.9%
	無回答	5	0.7%
	合計	683	100.0%

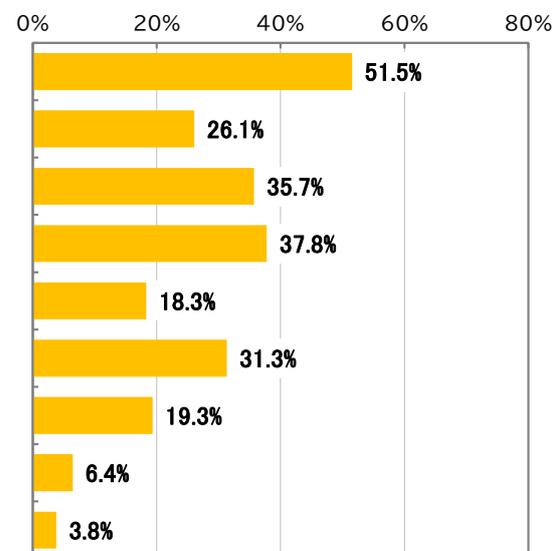
n= 683



問19 「府中市男女共同参画センター フチャール」にどのような機能があれば良いか[MA]

		票数	%
1	男女共同参画に関する意識啓発講座や情報提供	352	51.5%
2	女性の人権に関する意識啓発講座や情報提供	178	26.1%
3	女性の就労支援、デジタルスキルアップ等に関する講座や情報提供	244	35.7%
4	男女共同参画センターの事業紹介等に関する情報提供	258	37.8%
5	男女共同参画センター登録団体等への活動支援	125	18.3%
6	多様な働き方を推進するコワーキングスペース等の設備	214	31.3%
7	図書・資料の閲覧(貸出)	132	19.3%
8	その他	44	6.4%
	無回答	26	3.8%
	合計	1,573	230.3%

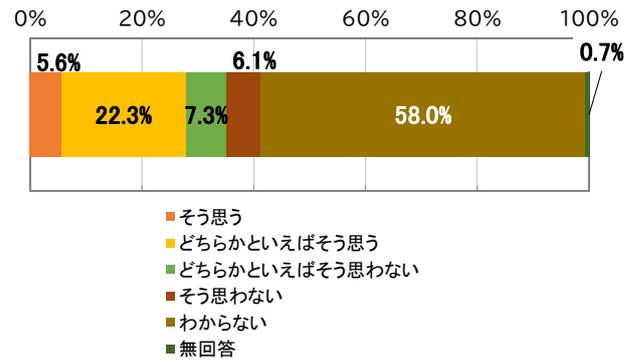
n= 683



問20 府中市は女性が活躍できる都市だと思うか[SA]

		票数	%
1	そう思う	38	5.6%
2	どちらかといえばそう思う	152	22.3%
3	どちらかといえばそう思わない	50	7.3%
4	そう思わない	42	6.1%
5	わからない	396	58.0%
	無回答	5	0.7%
	合計	683	100.0%

n= 683



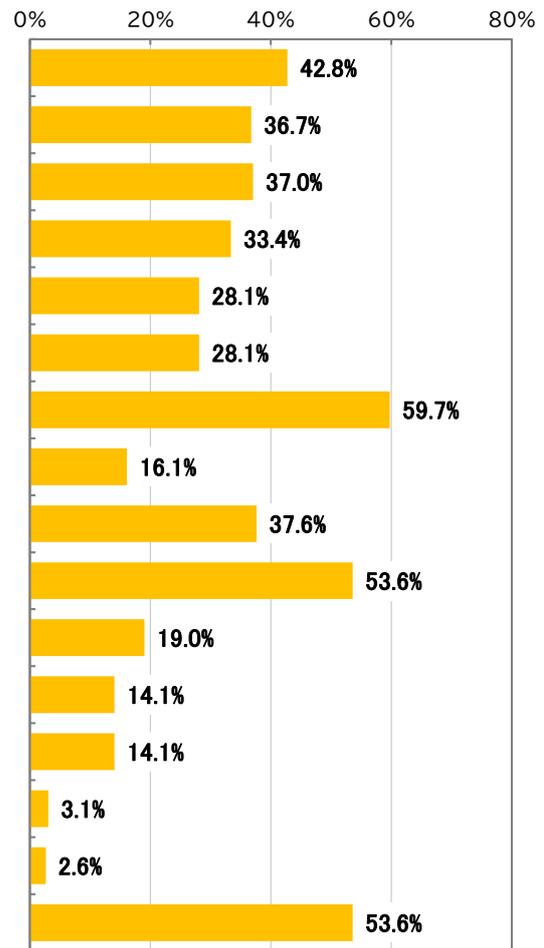
問20-1 【限定】問20で「1 そう思う」、「2 どちらかと言えばそう思う」、「3 どちらかと言えばそう思わない」または「4 そう思わない」と回答した方 そのように回答した理由[FA]

現在作業中

問21 自分らしく豊かに生きることのできる社会を実現させるため、力を入れてほしいこと[MA]

		票数	%
1	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う	292	42.8%
2	女性を意思決定の場に積極的に登用する	251	36.7%
3	職場における男女平等について周知徹底を行う	253	37.0%
4	女性を取り巻く社会的通念や習慣の中の偏見や差別を改める広報活動を充実する	228	33.4%
5	男女共同参画に関する情報提供や交流の場、相談、教育などを充実する	192	28.1%
6	女性の就労機会を増やすことや、職業教育・訓練を充実する	192	28.1%
7	男女ともにライフスタイルやライフステージに応じて柔軟な働き方を選択できる環境を整備する	408	59.7%
8	各種団体の女性のリーダーを養成する	110	16.1%
9	学校で男女平等教育を推進する	257	37.6%
10	育児や介護をする人の負担軽減を行う	366	53.6%
11	各国の男女共同参画に関する取組について、先進事例を紹介する	130	19.0%
12	市内在住の外国人の男女共同参画に関する取組について、情報発信等を充実する	96	14.1%
13	セクシュアルマイノリティへの意識啓発に関する講座やセミナー等を実施する	96	14.1%
14	その他	21	3.1%
15	特になし	18	2.6%
	無回答	366	53.6%
	合計	3,276	479.6%

n= 683



問22 自由意見[FA]

現在作業中